安寿（あんじゅ）

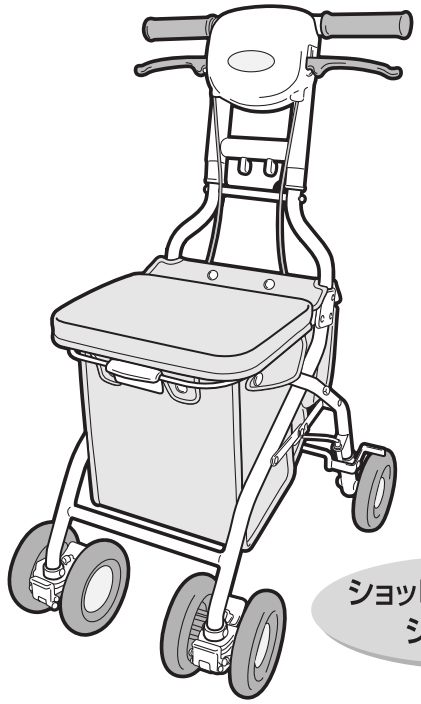
大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

歩行補助車

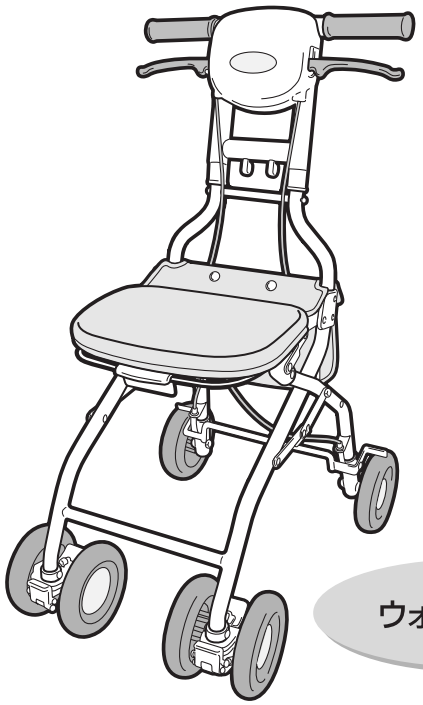
サンフィール

ショッピング
ショッピングS
ウォーキング

取扱説明書



ショッピング／
ショッピングS



ウォーキング

このたびは歩行補助車「サンフィール」をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

財団法人製品安全協会
SG合格品

●本製品を他のお客さまにお譲りになるときは、必ず本書を併せてお渡しください。

⚠ご使用になる前に

この製品は主として高齢者が外出時に使用するための製品で、自立歩行できない人（例：手すり等につかまらなければ歩行できない人等）の使用には適しません。

もくじ

安全上のご注意・各部の名前	1・2
各部の操作方法	3・4
保管のしかた・お手入れの方法	4

ARONKASEI CO., LTD.

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**	誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠ **注意**	誤った使い方をすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■ お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の例です）

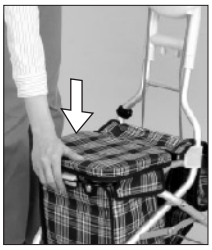
❗ 必ず実行していただく「**強制**」内容を説明しています。

🚫 してはいけない「**禁止**」内容を説明しています。

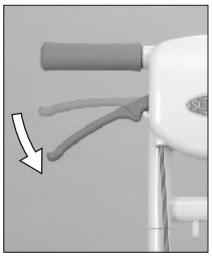
⚠ 警告

❗

座面下の組み立てロックが確実にかかっているか、確認してから使用すること
歩行中に折りたたまれる恐れがあります。



座面部に腰掛けるときには、事前に必ず左右どちらかの駐車用ストッパーをかけること
また、傾斜地では腰掛けないこと
車体が移動して使用者が転倒し、けがの原因になります。



座面から立ち上がるときは、車体が動かないことを確認してからゆっくり立ち上がること
車体が移動して使用者が転倒し、けがの原因になります。

急な坂道や踏切の横断での使用は注意すること
車体が転倒し、けがの原因になります。

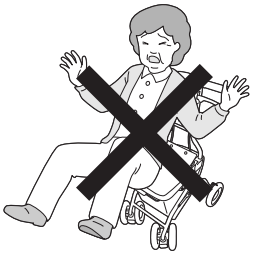
🚫

自立歩行ができない方は使用しないこと
転倒し、けがの原因になります。

雨や雪の日など、路面が凍結し、すべる所では使用しないこと
車体が転倒し、けがの原因になります。

🚫

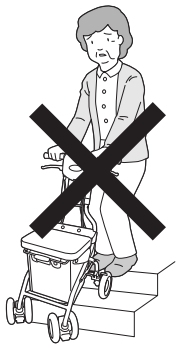
座面に浅く座らないこと
また、座面以外のところには座らないこと
車体が移動して使用者が転倒し、けがの原因になります。



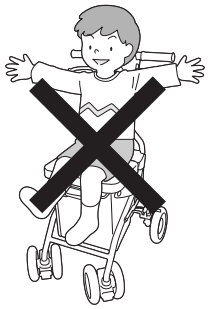
ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないこと
車体が移動して使用者が転倒し、けがの原因になります。

交通量の多い道路や混雑している場所、および夜間は使用しないこと
人や物にぶつかり転倒し、けがの原因になります。

階段や溝など段差のある所や、エスカレーターで使用しないこと
車体が転倒し、けがの原因になります。



バッグ内に乳幼児を乗せたり座面上に人を乗せたまま移動しないこと
車体が転倒し、けがの原因になります。



⚠ 注意

使用される前の注意

①**各部のねじやナットが緩んでいないかを確認すること**
そのままで使用すると、故障の原因になります。

②**ハンドルブレーキと駐車用ストッパーが確実にかかることを、ご自身で十分に確認すること**
使用中にブレーキがかからないと、転倒し、けがの原因になります。

ハンドル高さ調節レバーで高さを調節後、確実にロックされており、動かないことを確認してから使用すること
転倒し、けがの原因になります。

使用される際は、歩いて使用すること
走ると車輪の動きが悪くなったり、故障の原因になります。

車体から離れるときは、必ず駐車用ストッパーをかけること
車体が勝手に動き出す恐れがあります

火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けること
故障、変形の原因になります。

タイヤ及びブレーキの摩耗がないかを保守、点検し、必要に応じて交換等を行うこと
そのままで使用すると、故障の原因になります。

座面部の最大使用者体重は80kgです
80kgを超える力を加えると、故障の原因になります。

フロントバッグ5kg、リアポケット0.5kg以上の荷物を入れて押さないこと
故障の原因になります。

バッグ以外のところに荷物をのせたり、吊るしたりしないこと
バランスをくずして、転倒や故障の原因になります。

駐車用ストッパーがかかった状態では押さないこと
車輪が著しく摩耗する原因になります。

ハンドルグリップとハンドルブレーキの間に指を入れたまま、ブレーキをかけないこと
指をはさみ、けがの原因になります。

風の強い時は使用しないこと
車体が勝手に動き出したり、転倒し、けがをする原因になります。

傘(杖)等を持ちながら片手で使用しないこと
姿勢が不安定になり、転倒し、けがをする原因になります。

砂、泥のある場所、特に水たまりでは使用しないこと
転倒したり、故障の原因になります。

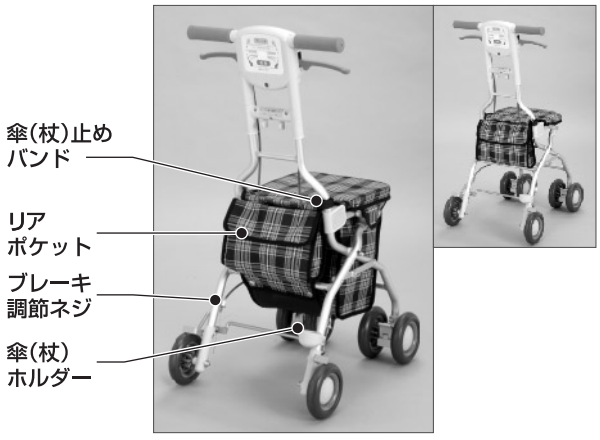
雨ざらしにしないこと
金属部が錆びて故障の原因になります。

改造、分解はしないこと
故障の原因となるだけでなく、けがをする原因になります。

各部の名前

ショッピング・ショッピングS(フロントバッグ付)　ウォーキング

ショッピング・ショッピングS　ウォーキング

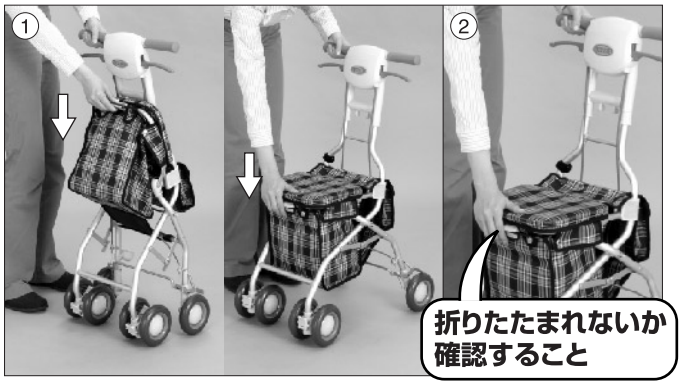


	ショッピング	ウォーキング	ショッピング S
組立寸法	幅40×奥行54×高さ79・83・87・91cm		幅40×奥行48×高さ70・73・76・79cm
折りたたみ寸法	幅40×奥行30×高さ88～100cm		幅40×奥行28×高さ79～88cm
座面高さ	43cm		39cm
質量	約4.7kg	約4.2kg	約4.6 kg
バッグ耐荷重	フロント:5kg/リア:0.5kg	リア:0.5kg	フロント:5kg/リア:0.5kg

※ショッピング↔ウォーキングのバッグの付け替えはできません。
※ショッピング・ショッピングSのバッグは共用できません。

各部の操作方法 1

組み立て方・座面のセット方法



①ハンドルグリップと折りたたみグリップを持ち、写真の矢印方向にカチッと音がするまで押し広げてください。

②確実にロックがかかり、フレームが折りたたまれないか確認してください。座面はいすとしてご使用できます。

警告

座面下の組み立てロックが確実にかかっているか、確認してから使用すること
歩行中に折りたたまれる恐れがあります。

座面に座るときは駐車用ストッパーを必ずかけること
転倒し、けがの原因になります。

折りたたみ方

ハンドルグリップを持ち、折りたたみグリップ下の組み立てロック解除バーを手前に引いて、写真の矢印方向に折りたたんでください。

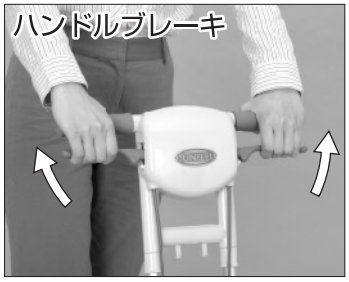
注意

折りたたみグリップ以外を持って組み立て、折りたたみをしないこと
指をはさみ、けがの原因になります。

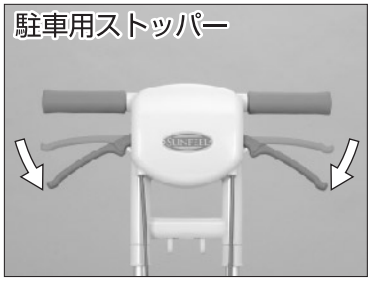
ハンドルブレーキ・駐車用ストッパーのかけ方

注意

歩行時は必ず駐車用ストッパーを解除すること
後輪がロック状態になり、転倒し、けがの原因になります。

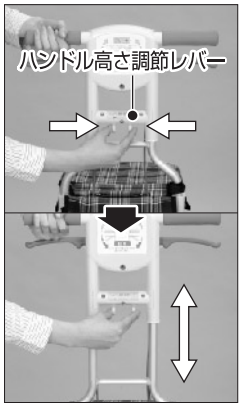


ハンドルブレーキを写真の矢印方向に引くと、ブレーキがかかります。左右どちらかだけでも両輪にブレーキをかけることができます。



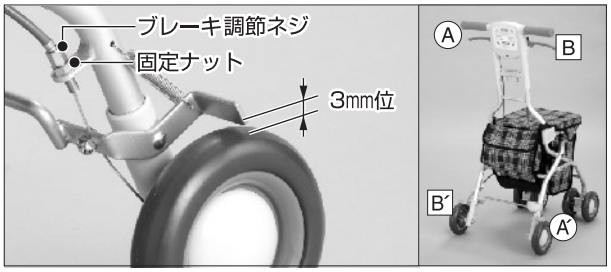
ハンドルブレーキを写真の矢印方向に下げると、ブレーキがかかったままの状態で固定できます。

ハンドル高さの調節方法



黄色いハンドル高さ調節レバーを寄せると高さを4段階で調節することができます。

ブレーキの調節方法



ブレーキがききにくいときには固定ナットをゆるめ、ブレーキ調節ネジを左方向に回して調節した後、固定ナットをしめつけてください。
ハンドルブレーキ左Ⓐ(右Ⓑ)がききにくい時は 右後輪Ⓐ(左後輪Ⓑ)を調節してください。

注意

ブレーキを解除したときに、ブレーキバーとタイヤのすき間が3mm位できるように調節すること
すき間が狭いと、長時間駐車用ストッパーをかけたときのタイヤのへこみの原因になります。

傘(杖)立ての使い方

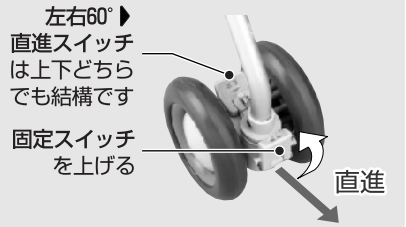
傘や杖の先端を傘(杖)ホルダーに入れて、傘(杖)止めバンドで固定してください。

各部の操作方法2

■ キャスターの操作方法　3通りの使い方ができます

固　定

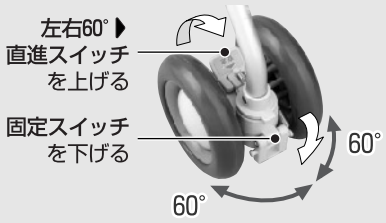
直進方向で固定されます
※歩行に不安のある方はこの設定でご使用ください



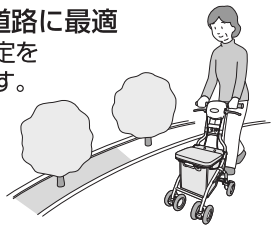
傾斜した歩道や砂利道でハンドルが取られず歩行できます。

左右60°▶直進

左右60°首振りしスプリング効果で直進方向に戻ります

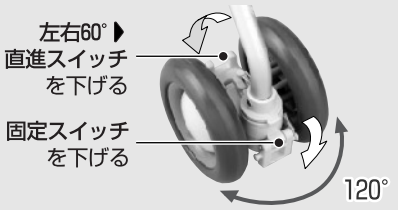


舗装された道路に最適
通常はこの設定をおすすめします。



左右60°

左右60°首振りします
※腕の力が少なく曲がる際に負担を感じる方はこの設定でご使用ください



スーパーなど屋内に最適
小回りが効いて便利です。

※この製品はコンパクトタイプですので、座面使用時の安定性確保のため360°フリーの設定はありません。

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に保管してください。

⚠ 注意	**雨ざらしにしないこと** 金属部が錆びて故障の原因になります。
	幼児や小さなお子さまの手の届くところに置かないこと 思わぬけがの原因になります。
	火の近く、および夏期の車内など、高温になる場所には保管しないこと 故障や変形の原因になります。
	荷物を重ねたり圧力が加わる状態で保管しないこと 故障や変形の原因になります。

お手入れの方法

■ 清掃について

汚れがひどいときには中性洗剤または濡れた布でほこりを落とし、乾いた布で良く拭き取ってください。
湿気を帯びたまま放置しますと傷むことがありますので、乾かして湿気を取るようにしてください。

⚠ 注意	**車体の清掃に中性洗剤以外の物を使用しないこと** 部品の変質、劣化の原因になります。

■ 点検について

タイヤの摩耗、ネジ類の緩み、部品の破損、及び動作不良がないかを適時点検し、必要に応じて交換してください。

⚠ 警告	**車体の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止すること** 重大な事故につながる恐れがあります。
⚠ 注意	**危険ですからむやみに改造や分解をしないこと。** 故障やけがの原因になります。

■ 注油について

泥やほこりをよく落としてから一箇所につき数滴注油（マシン油、ミシン油）してください。
ブレーキに油がつかないように注意してください。ブレーキに付着した油はよく拭き取ってご使用ください。